

オープンアクセスウィーク 2022

オープンアクセスウィークとは

10/
24

10/
30

オープンアクセスの意義を周知するため、毎年 10 月に行われる世界的なイベントのこと。その年のテーマに沿った取り組みが世界各地で行われます。

千葉大学附属図書館でも、そうした取り組みの一環としてオープンアクセスに関する情報を積極的に発信します。

今年のテーマ

Open for Climate Justice

気候正義のためのオープンデータ

気候正義とは「気候変動による問題は、先進国・富裕層・既得権益層・先行世代が生み出したもので、その影響による発展途上国・貧困層・将来世代などの不利益への責任を負うべきという考え方」（デジタル大辞泉より）のことです。

近年、気候変動問題への対応にあたり、地理・経済・学問的な境界を超えた迅速な知識交換の必要性が高まっています。

今年のテーマは、気候正義（Climate Justice）に焦点を当てて、気候変動関連の取り組みと国際的なオープン・コミュニティ間とのつながりと協力を促進することを目的としています。

International Open Access Week の Web サイトはこちら



オープンアクセスの基礎知識

オープンアクセスとは

研究成果をまとめた論文やデータをインターネット上に無料で公開し、誰もが自由に利用できるようにすること

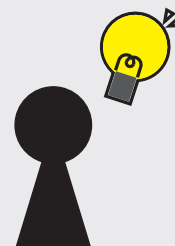
学術研究の発展のために、世界的に公的な研究助成期間の多くが研究成果のオープンアクセス化を義務化・推奨しています。

オープンアクセス化が進むと……

① 自分の研究成果を広く知ってもらえる

オープンアクセス論文は非オープンアクセス論文より被引用数が 2.5 ～ 5.8 倍になったという報告もあります。

② 新たな研究の可能性が生まれる



千葉大学のオープンアクセス化支援

千葉大学では「千葉大学学術成果リポジトリ CURATOR」より、年間約 1,500 件の研究成果にメタデータや DOI（研究データや論文に用いられる識別子）を付与し、公開しています。

また、附属図書館の Web サイトや研究支援ポータル EYRJ! ではオープンアクセスについて詳しく解説しています。

CURATOR について



オープンアクセスについて



グリーンオープンアクセス

オープンアクセス化する方法にはいくつかの種類があり、その一つとして「グリーンオープンアクセス」があります。

グリーンオープンアクセスとは

- 学術雑誌などに掲載済みの研究成果を、研究者自身が機関リポジトリ等から公開する方法

ただし出版社によっては、著者最終稿のみ公開可能などの条件があるほか、一定の非公開期間が設けられる場合があります。

グリーンオープンアクセスのメリット

- オープンアクセスにするための論文掲載料（APC）を出版社に支払う必要がない

オープンアクセスジャーナル（全てあるいは一部の論文を無料公開しており、インターネット上で誰でも読むことのできる雑誌）へ投稿することによってオープンアクセス化を図る方法では、論文掲載料を支払う必要があります。

千葉大学オープンアクセス方針

オープンアクセス方針とは、自国・自機関の研究成果をどうオープンアクセス化していくかを定めた方針のことです。

本学では2016年に「千葉大学オープンアクセス方針」を策定し学内の研究成果のオープンアクセス化を推進しています。

千葉大学オープンアクセス方針の詳細はこちら





ハゲタカジャーナルに注意！

ハゲタカジャーナルとは

著者から論文掲載料を騙し取ることを目的としている、
オープンアクセスジャーナルの仕組みを悪用した悪質な雑誌のこと

- ② 論文掲載料（APC=Article Processing Charge）とは
雑誌に投稿した論文をオープンアクセス化するために必要となる費用。

ハゲタカジャーナルに投稿してしまうと……

- 研究コミュニティ内での自身の信頼・評価が低下する
- 不当に高額な論文掲載料を請求される
- 論文を投稿した後にハゲタカジャーナルであることに気づいても
論文の撤回が認められず、他のジャーナルへの再投稿ができなくなる

ジャーナルの安全性を判断するために役立つリスト

ホワイトリスト

- **Directory Open Access Journals (DOAJ)**
厳しい審査を通過した、安全性の高いオープンアクセスジャーナルのデータベース
- **Quality Open Access Market (QOAM)**
オープンアクセスジャーナルの論文掲載料（APC）や品質に関する情報を掲載

健全性チェックリスト

- **Think. Check. Submit.**
投稿予定のジャーナルが信用に値するかをチェックするためのリスト

ハゲタカジャーナルについてさらに詳しく



今年のテーマに関連する本学の研究成果

千葉大学学術成果リポジトリ CURATOR にて公開中の研究成果物の中から、今年のオープンアクセスウィークのテーマに関連する論文や報告書等の一部をご紹介します。

研究成果物の詳細は、各タイトルの右側の二次元コードから確認することができます。

テーマ関連の本学の研究成果（一部）

- 千葉大学公共学会『公共研究』第18巻第1号

倉阪秀史「[特集2 脱炭素政策検討支援ツールの開発と地域将来ビジョンの共創に関する研究] 地域自治体の持続可能性を確保するための各種情報提供システムからわかること」ほか



- 大沼田陽介、ウニバト「環境変動に伴う牧畜民の生活変化：中国内モンゴル自治区スニド左旗ツァガンノール・ガチャの事例から」、『千葉大学大学院人文公共学府研究プロジェクト報告書』, 367号 p.23-73



- 古在豊樹「持続可能な人工光型植物工場：SDGs 実現への貢献を超えて」、植物工場研究会「植物工場研究会設立10周年記念講演会」（2021-09-17, 千葉大学柏の葉キャンパス）発表資料



- 千葉大学環境リモートセンシング研究センター『CEReS 環境リモートセンシングシンポジウム資料集』23巻
加藤顕「3次元データを用いた森林災害予防技術の開発」ほか



- そのほか「気候変動 / Climate Change」に関する研究成果



千葉大学学術リソースコレクション c-arc

c-arc とは

千葉大学附属図書館がWeb上で公開・提供するコンテンツを学術リソースとして広く使ってもらうためにコレクションしたものです。

工学部デザイン工学科卒業生によるデザイン集、江戸時代の古文書、薬学部名誉教授が収集した植物標本など、多彩な画像を収録しています。

収録コンテンツ（一部）



工学部工業意匠学科・デザイン
工学科卒業生デザイン集

自動車、家電、日用品、文具、交通施設サインなど多岐に渡るデザイン作品の画像を収録。



町野家文書

千葉郡犢橋村（現千葉市花見川区犢橋町）の名主であった町野家が代々伝えた江戸時代から明治時代（1650～1880年代）にかけての古文書。



萩庭植物標本データベース

故萩庭丈壽名誉教授が生涯にわたり採集・収集したさく葉（押し葉）標本のデータベース。
日本全土の顕花植物の約95%を含むと言われる。



2つの画像を並べた場合のビューワ例

c-arcの画像と、他機関が公開している貴重書などを横に並べて見比べることもできます。

International Image Interoperability Framework（IIIF）という技術を用いることで、画像データを学術リソースとして簡単に利活用できる環境を提供しています。

c-arc の画像をしてみる



千葉大学学術リソースコレクション c-arc

c-arc とは

千葉大学附属図書館がWeb上で公開・提供するコンテンツを学術リソースとして広く使ってもらうためにコレクションしたものです。

工学部デザイン工学科卒業生によるデザイン集、江戸時代の古文書、薬学部名誉教授が収集した植物標本など、多彩な画像を収録しています。

収録コンテンツ（一部）



古医書コレクション

大槻玄沢の「重訂解体新書」や日本最初の解剖書である「蔵志」をはじめとした貴重書の画像を収録。



真菌・放線菌ギャラリー

病原菌カビ・酵母・キノコおよび病原性放射菌の画像集。同種の菌について、肉眼で見える大きさのコロニー、顕微鏡、走査電子顕微鏡の最大3種類の画像を収録。



萩庭植物標本データベース

故萩庭丈壽名誉教授が生涯にわたり採集・収集したさく葉（押し葉）標本のデータベース。日本全土の顕花植物の約95%を含むと言われる。



2つの画像を並べた場合のビューワ例

c-arcの画像と、他機関が公開している貴重書などを横に並べて見比べることもできます。

International Image Interoperability Framework (IIIF) という技術を用いることで、画像データを学術リソースとして簡単に利活用できる環境を提供しています。

c-arc の画像をしてみる



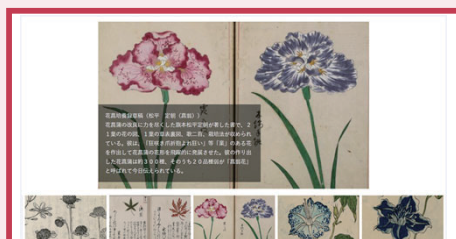
千葉大学学術リソースコレクション c-arc

c-arc とは

千葉大学附属図書館がWeb上で公開・提供するコンテンツを学術リソースとして広く使ってもらうためにコレクションしたものです。

工学部デザイン工学科卒業生によるデザイン集、江戸時代の古文書、薬学部名誉教授が収集した植物標本など、多彩な画像を収録しています。

収録コンテンツ（一部）



江戸・明治期園芸書コレクション

江戸時代に変種栽培が流行した朝顔をはじめ、花菖蒲・楓などの様々な品種を描いた美しい彩色図譜などのコレクション。



萩庭植物標本データベース

故萩庭丈壽名誉教授が生涯にわたり採集・収集したさく葉（押し葉）標本のデータベース。
日本全土の顕花植物の約95%を含むと言われる。



工学部工業意匠学科・デザイン工学科卒業生デザイン集

自動車、家電、日用品、文具、交通施設サインなど多岐に渡るデザイン作品の画像を収録。



2つの画像を並べた場合のビューワ例

c-arcの画像と、他機関が公開している貴重書などを横に並べて見比べることもできます。

International Image Interoperability Framework (IIIF) という技術を用いることで、画像データを学術リソースとして簡単に利活用できる環境を提供しています。

c-arc の画像をしてみる

